

華ちりめん伊と錦



Timebank

今の京都は一体どうなってるー？

先日今年の2月以来の京都へ出張に行ってきた。そう、かなり久しぶりの出張です。前回京都に行った時はコロナって流行るんかねえ？みたいな様子だったので、こんな状況になるとは思ってもみませんでした。

今回のミッションは、「ザ・西陣織」を見に行こう」です。西陣織という間いたことがあったり、実際にその「帯」をお持ちの方も多くいらっしやると思いますが。

実は「西陣織」とは正確には、「京都（西陣）で生産される先染（さきぞめ）の紋織物」のことを指します。そして「西陣織」には十二品目の種類の織り方があって、今では昔に比べると随分と少なくなっています。いろいろな機屋さんで様々な織物が作られています。その十二品目とは、一、綴れ 二、経錦（たて

にしき）三、緯錦（ぬきにしき）四、緞子（どんす）五、朱珍（しゅちん）六、紹巴（しょうは）七、風通（ふうつう）八、もじり織り 九、本しば織り 十、ビロード 十一、緋織り 十二、紬とそれぞれ糸の使い方や織り方が違うので、出来上がった生地（ぢ）の風合いも違います。その中のいくつかの技法を組み合わせた、新しい織物に挑戦して挑戦されているところもあるみたいです。聞いたところでは、超有名名車両メーカーの座席シート（ぢ）の生地を織っている機屋さんがあって頑張っているそうですよ。



工房にお邪魔しました

美しい絹糸が並ぶ棚
欲しい色糸をその都度染めるそうですよ
繊細な色のグラデーションもありました。
この細い色糸が一本ずつ着物に織り込まれています



朱珍織の訪問着

地色のぼかしや柄の部分も「染め」ではなく全て「織り」で表現されています

今回お邪魔したのは、以前からご縁を頂いている田歌さん。ここでは、着物と帯などを作っているらしいです。以前「最高峰の御召」をご紹介させて頂きましたが、その御召（おめし）を作っているところです。今回は、御召だけのご紹介でしたが、実はこちらでは、西陣織十二品目のうち、九品目のモノづくりをされています。一度その製作工程を見ると圧倒されるものがあります。「きものって高級なんだ」と改めて納得です。

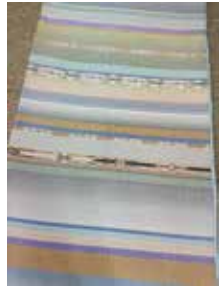
残念ながら、こちらの紙面でその風景は掲載できないのですが、その織細さと、計算された緻密さ、そして生地（ぢ）の細かさや風合いの良さは、本当に圧巻です。右の写真は、朱珍の訪問着です。画像では、その高級感しか感じ取ることができませんが、実際の着物

を手を取ってみると、その「美しさ」や染めのお着物とは一線を画す「繊細さ」としつかりとした生地風の中に絹糸特有の「光沢感」と「しなやかさ」を兼ね備えた「素晴らしさ」があります。

訪問着というと、何かご招待状が届いた時のお着物になります。もしその機会にお召し頂けるとしたら、「この上ない」一日をお過ごし頂けるのではないかと思えます。そして新しい作品もみせて頂くことができます。



もじり織の着物



紬のおしゃれ帯



経錦の着物

というよりも、スーツ感覚の着物です。その使い勝手は、金銀の帯を結ぶと略礼装用に、そして半幅や名古屋帯といったオシヤレの帯を結ぶと平素のお楽しみ用になる。とっても便利なものです。昔からの言葉で「衣食住」とありますが、その「衣」とし

て「見た目の良さ」もさることながら、お召し頂いた時の「着心地」や「質感の良さ」は、他と違うものがあります。私がお召し頂いた時の「ファン」であることがこちらの機屋さんの「ファン」であることを除いたとしても、同じことが言えます。何回見ても、「これ凄いな」「これは



少し洗めの袋帯「粋」な組み合わせにしても「コントラスト」を生かしてもいい帯です

良いな」というのは、やっぱり「本物」です。

予告になります。が、九月の初旬にこちらの作品や訪問着、御召などの反物や袋帯を伊と

錦に「特別企画」として紹介させて頂きます。作り手の田歌さんも一緒にしますので、ぜひ楽しみにお待ち頂けたらと思います。

言葉足らずで、伝えられないことがたくさんあります。申し訳ございません。一番は、触れて頂いたり、着て頂いたりして、その「よさ」を感じて頂けると幸せです！

伊と錦のキャッチコピーを「ご存じですか？」もし「ご存じでしたら、それはファン

第一号。いつもありがとうございます！

当店のキャッチコピーで「つい振り返って見てしまおう、そんなお客様の着物姿が、私たちの理想です」があります。これは、街や通りなどを歩いている人が、前から素敵に着物姿の人が歩いていてのを見かけて、そして少し違いざまに「つい」後ろ姿を追って「帯」まで見てしまおう、という内容です。これからもこのキャッチコピーを指して、お客様にご満足して頂けるように頑張つて参りますので、末永い御贖頂けますよう、どうぞよろしくお願致します。

・8月はお着物や帯のお手入れ月間です

もし、タンスにしまったままのお着物や帯、長襦袢で、シミやカビなどのお悩みがありましたらお気軽にご相談ください。

そのお着物、手入れした方が良さそうです。

もし、タンスにしまったままのお着物や帯、長襦袢で、シミやカビなどのお悩みがありましたらお気軽にご相談ください。寸法の測り直しや、洗い張りのご相談など喜んで承ります。

匠 織 予告版

9月4日～6日の金・土・日の三日間



田歌

